学校番号	3020B

平成 31 年度　国語科

教　　科	国　語	科目	古典Ｂ	単位数	1	年次	2
使用教科書	新編　古典Ｂ　改訂版（大修館書店）						
副教材等	新修　古典文法（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・有名な古文と漢文の作品に親しむと共に、正しく読解するために語彙力を増やすこと。
・国語総合で学んだことを深め、新たに学ぶ文法事項の学習に努めること。
・漢文では句形を一つ一つ丁寧におさえながら、読解にいかすこと。

2　学習の到達目標

・古典の世界に触れ、その世界を味わおうとする態度を身につける。
・文章読解のために、文法事項を身につける。
・古文漢文問わず、そこに現れる人間の姿をとらえる。
・句法・漢詩に関する知識を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読んで、伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。			古典を読んで、内容や構成や展開に即して的確にとらえ、考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、文法事項を理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査、小テスト	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシートなど） 定期考査 小テスト 暗唱テストなど
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期	古文の説話に親しむ	『今昔物語集』「安倍晴明」	○			◎	○	ａ：文章に描かれている人物の心情を読み深めようとしている。 ｄ：文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 ｅ：古文を読むことに役立つ、文語の基本的なきまりを身につけている。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト及び定期考査
	古典文法 助動詞	『新修　古典文法』 『新修　古典文法 ニ訂版　ドリル編』 助動詞	○			○	◎	ａ：古文を読むのに役立つ、助動詞を理解しようとしている。 ｄ：語句や助動詞に注意して例文を現代語訳できている。 ｅ：古文を読むことに役立つ、助動詞の基本を理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト及び定期考査

	随筆	『徒然草』 「今日はそのことをなさんと思へど」「丹波に出雲といふ所あり」 『方丈記』 「行く河の流れ」	○			◎	○	ａ：作者や随筆文学についての関心を深めようとしている。 ｄ：本文の構成を把握できている。語句や文法事項に注意して本文を現代語訳できている。 ｅ：対句的表現や比喩を理解している。作品の内容や作者について文学史的視点から理解を深めている。	ａ：行動の観察及び記述の点検 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト及び定期考査
	故事成語	故事成語 「漁夫之利」 「借虎威」 「朝三暮四」	○			◎	○	ａ：漢文に親しみ、故事成語への理解を深めようとしている。 ｄ：本文を正確に読み、書き下し文にしている。故事成語の意味を理解できている。 ｅ：返り点、助字、再読文字などの訓読のきまりを理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト及び定期考査
	歌物語	『伊勢物語』 「初冠」 「あづま下り」	○			◎	○	ａ：歌物語について、また、歌物語における和歌の役割について理解を深めようとしている。 ｄ：重要古語や古典文法に注意しながら本文に即して現代語訳している。和歌の果たしている役割を理解している。 ｅ：当時の生活や文化について理解を深めている。文学史的な位置づけについて理解を深めている。	ａ：行動の観察及び記述の点検 ｄ：記述の確認及び定期考査 ｅ：小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e：知識理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。